

さまざまなことから調べる

参考図書 (reference book) とは

特定の知識や情報について調べることができるものを参考図書とよんでいます。小説などとは違い、必要なところだけ読めば用が足りる、たとえば、事典・辞典・図鑑・年鑑・便覧・白書などです。



索引をひく

百科事典で調べるコツは、索引をひくこと。

調べたいことが項目になくても、索引からひくと、実はちゃんと調べられることが多いです。索引の項目数は事典本体の項目数よりたくさん掲載されています。

『日本大百科全書』 (Encyclopedia nipponica)

小学館 1984年 全25巻

ニッポニカともよばれる百科事典です。日本の歴史、思想、風土から、芸術、文学など、あらゆることに関する約13万項目を載せています。1巻から24巻は五十音順に排列され、25巻が索引です。1994年に補巻が刊行されました。

項目の末尾に参考文献が記載されていること、カラー図版を多数使用しているのが特徴です。これは、日本の百科事典としては初めてのことでした。また、「歩く」などの動詞も項目として取り上げています。

当館は初版本を所蔵しており、『スーパーニッポニカ』(2004)がデータベース端末でも使用できます。

『世界大百科事典』

平凡社 2011年 全34巻

戦後間もなく編集に着手し、1955-1959年に初版を刊行しています。しかし、現代社会の情報量の増大や専門化に応じるため、2007年に大規模な改訂が行われました。非専門家にもわかりやすい百科事典となっています。地域は日本を中心に、項目は日本とのかかわりが深いほど詳細に掲載されています。項目総数約9万、索引項目数約40万が掲載されています。

『ブリタニカ国際大百科事典』 ティービーエスブリタニカ 1991-94年

20巻からなる大項目事典(大きな主題を見出し語として、その下に関連することからを解説)と、6巻からなる小項目事典(小さな主題の一つ一つを見出し語としたもの)、参考文献・総索引・分野別の手引き各1巻で構成されています。1995-2002年発行の第3版が最新ですが、当館は第2版改訂版を所蔵しています。

